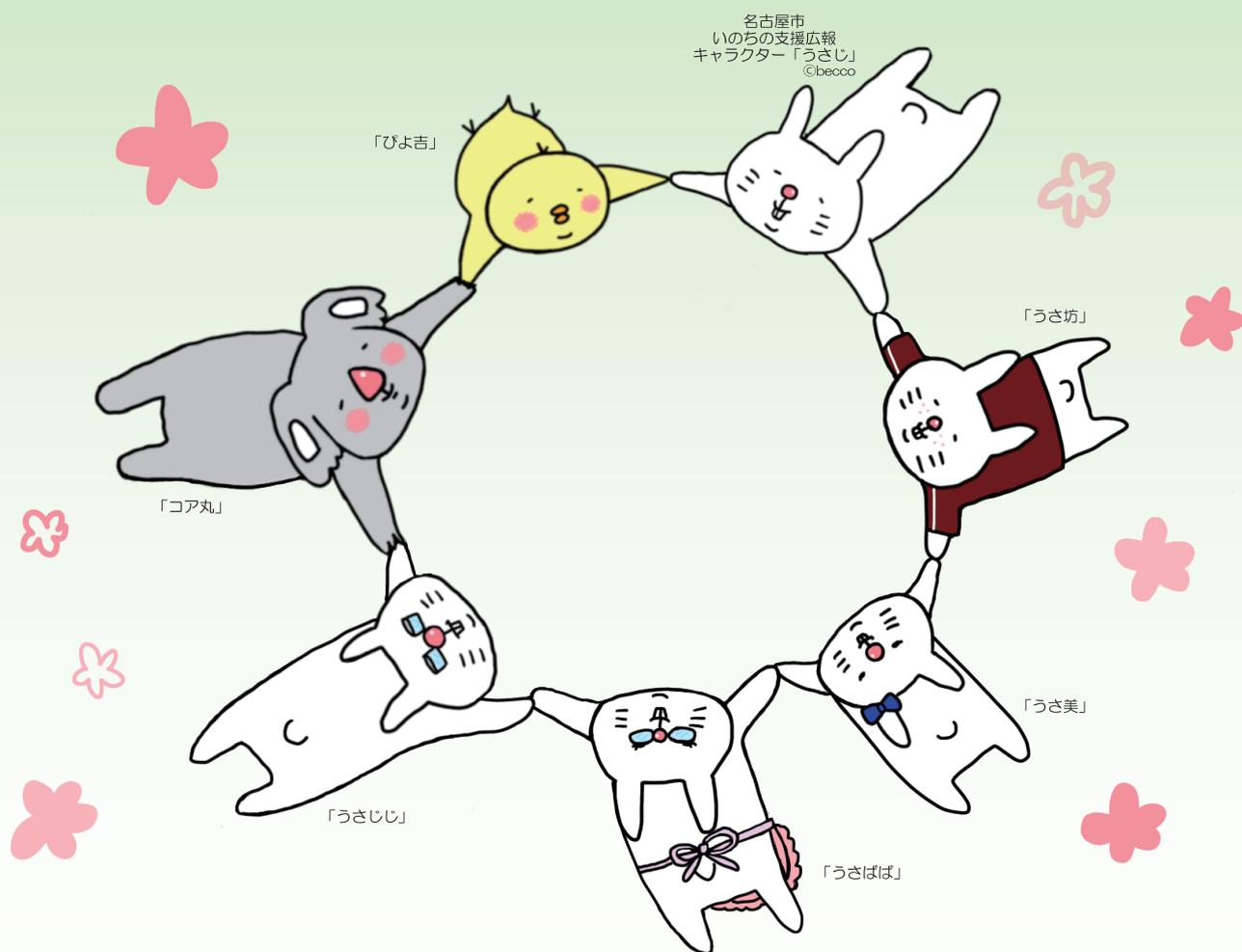


概要版

いのちの支援なごやプラン(第2次)

～名古屋市自殺対策総合計画(第2次)～

《計画期間：令和5(2023)年度～令和9(2027)年度》



令和5(2023)年3月

名古屋市



目 次

1	計画策定の考え方	1
2	本市の自殺の現状	4
3	「いのちの支援なごやプラン」における取り組み	7

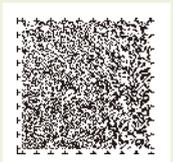
注1：本計画に記載している担当部局の名称は、令和5(2023)年4月1日時点の名称
で表示しています。



1 計画策定の考え方

ア 策定の趣旨

- 平成28年に自殺対策基本法の改正があり、すべての市町村において自殺対策についての計画を定めることとされた。
- 本市では、平成30年度から令和4年度までの5年間を計画期間とする「いのちの支援なごやプラン」（名古屋市自殺対策総合計画）を策定し、本市の自殺対策を推進してきた。
- 新型コロナウイルス感染症の影響も続く中、自殺者数は年間300人を超える水準で推移しており、引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の自殺への影響について情報収集・分析を行い、対策を講じる必要がある。
- 令和4年には、自殺の実態を踏まえ、更なる取り組みを進めるべく、自殺総合対策大綱の見直しも行われた。
- これまでの自殺対策の進捗状況や、令和3年度に実施した「こころの健康に関するアンケート」の結果や名古屋市自殺対策総合計画策定検討会等の意見を踏まえ計画を策定する。
- 計画に基づき自殺対策をさらに推進し、全ての市民がかげがえのない個人として尊重され、自分らしく、生きがいを持って暮らすことができる社会の実現をめざす。



イ 基本方針

- 3つの視点（自殺の予防・自殺の防止・自死遺族に対する支援）による総合的な推進
- 生きることの包括的な支援として推進
- 関連施策との有機的な連携による総合的な対策の推進
- 実践と啓発を両輪として推進
- 関係者の役割の明確化と関係者による連携・協働の推進
- 自殺者等の名誉及び生活の平穏への配慮

ウ 位置付け

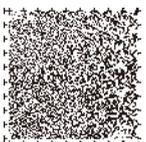
自殺対策基本法第13条第2項に基づく市町村自殺対策計画として、本市の自殺対策の総合的な推進に関する基本的な事項を定める。

エ 計画期間

令和5年度から令和9年度までの5年間とする。

オ SDGsへの対応

本計画では、SDGsの理念を踏まえ、「目標3 すべての人に健康と福祉を」をはじめとする目標の達成に向けて、計画の推進に取り組む。



カ 数値目標

令和9年の自殺死亡率（厚生労働省・人口動態統計）を11.5以下とする。

【考え方】

令和8年までに自殺死亡率为平成27年（16.9）と比べて30%以上減少（11.8以下）させることを目指し、令和9年までに達成すべき値を算出

キ 推進体制と進行管理

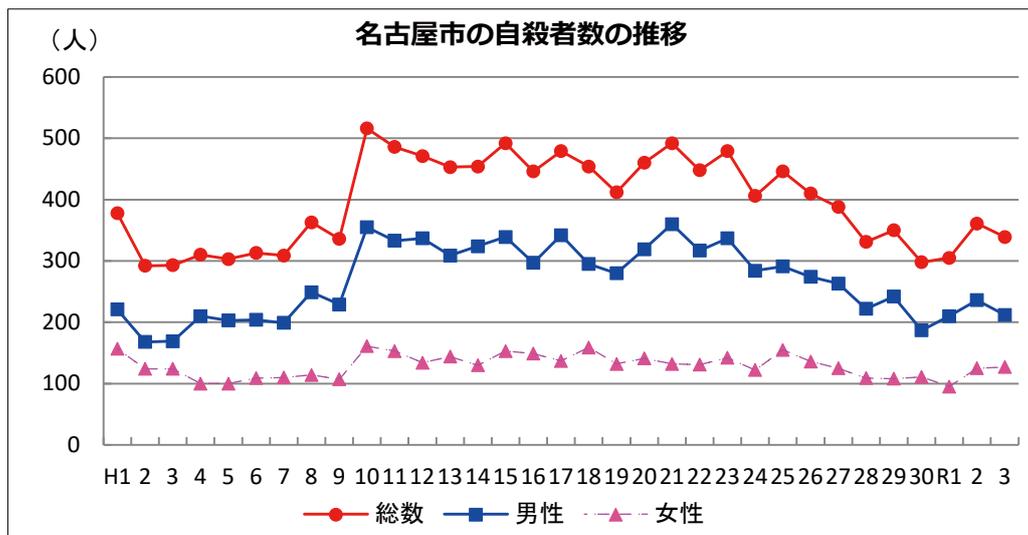
- 副市長を本部長、関係局長を本部員とする「名古屋市自殺対策推進本部会議」等庁内の会議を開催し、計画の推進と進捗状況の管理を実施
- 計画の進捗状況等について関係機関、民間団体、学識経験者等で構成する「名古屋市自殺対策連絡協議会」に報告し、意見交換を実施



2 本市の自殺の現状

ア 自殺の現状

平成10年に自殺者数が急増したが、その後緩やかな減少傾向を辿り、平成30年には300名を下回った。令和元年より2年連続で増加したが、令和3年は22人減少している。
(厚生労働省・人口動態統計)

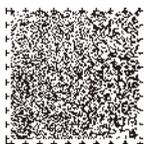


区分	平成10年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
自殺者数	516人	350人	298人	305人	361人	339人
自殺死亡率	23.9	15.1	12.8	13.1	16.0	14.6

【参考：全国の自殺の現状】

平成10年に自殺者数が急増して以降、増減を繰り返していたが、平成22年以降10年連続で減少し、令和元年には2万人を下回った。令和2年より再度2万人を上回っている。

区分	平成10年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
自殺者数	31,755人	20,465人	20,031人	19,425人	20,243人	20,291人
自殺死亡率	25.4	16.4	16.1	15.7	16.4	16.5



イ 新型コロナウイルス感染症拡大下の自殺の状況

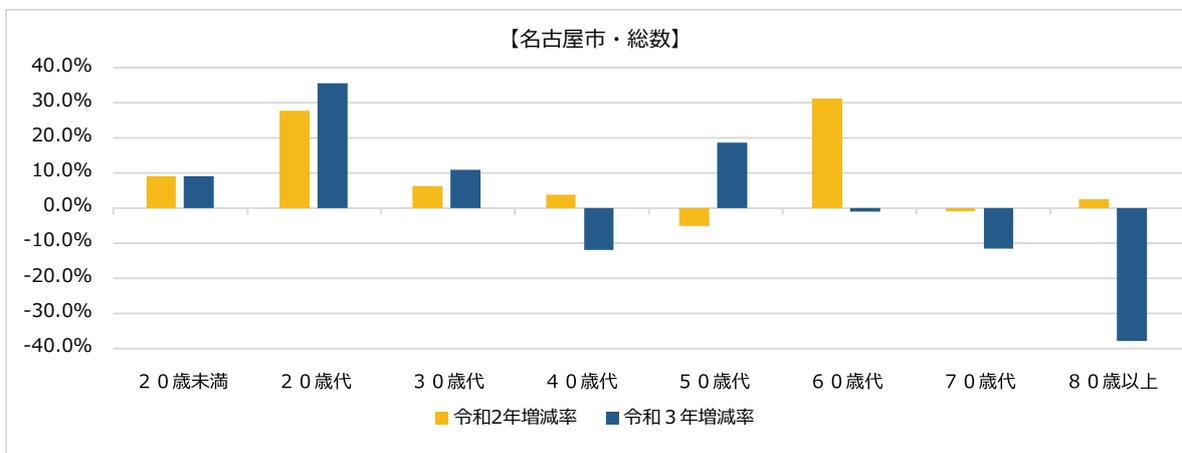
コロナ禍前と比較して、年代別で見ると、主に20歳未満や20歳代において増加しており、特に女性の増加率が大きい。また、原因・動機別では「不詳」を除くと、主に「学校問題」が増加しており、女性では「健康問題」以外の全てに増加が見られる。

○令和2年、令和3年の自殺者数増減率

(平成27年から令和元年までの自殺者数平均との比較)

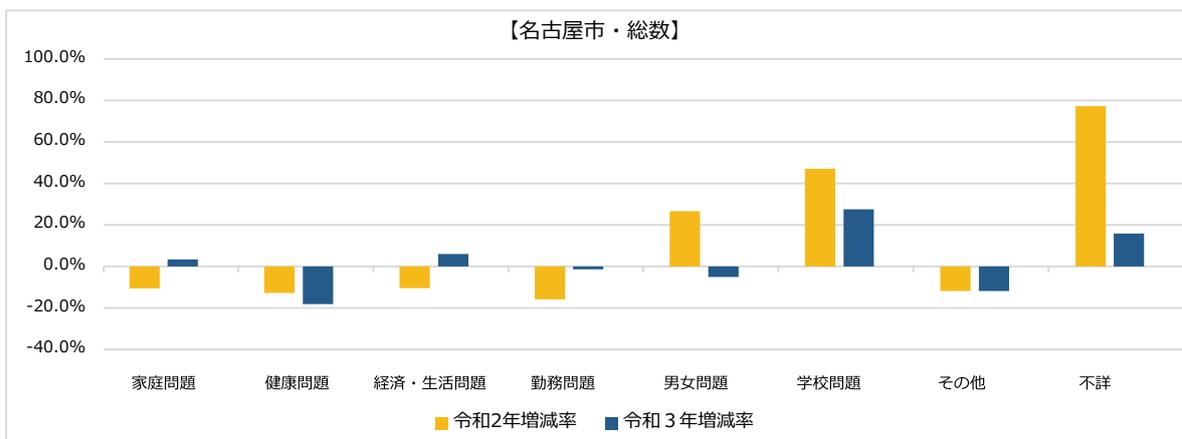
年代別（総数）

(厚生労働省・人口動態統計)



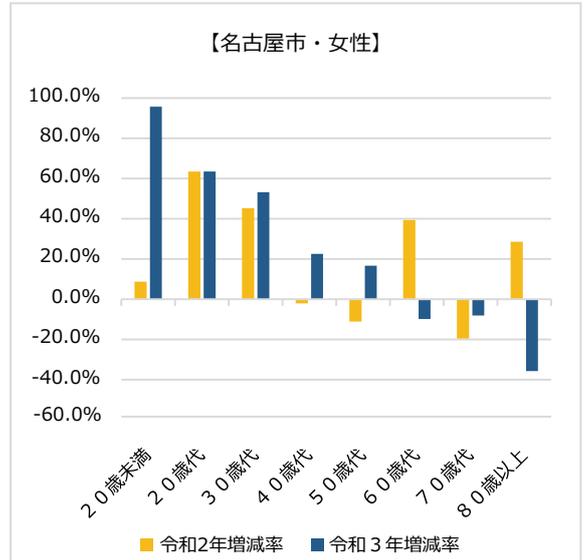
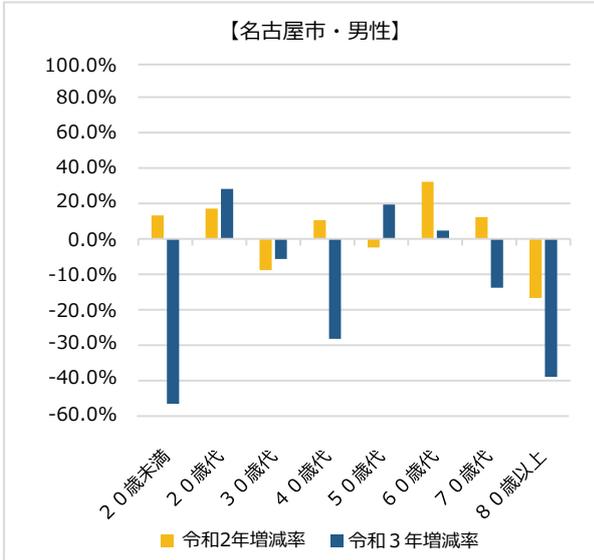
原因・動機別（総数）

(警察庁・自殺統計)



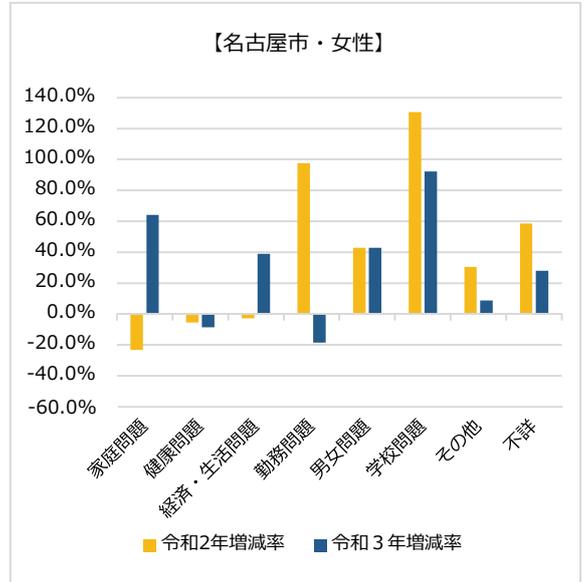
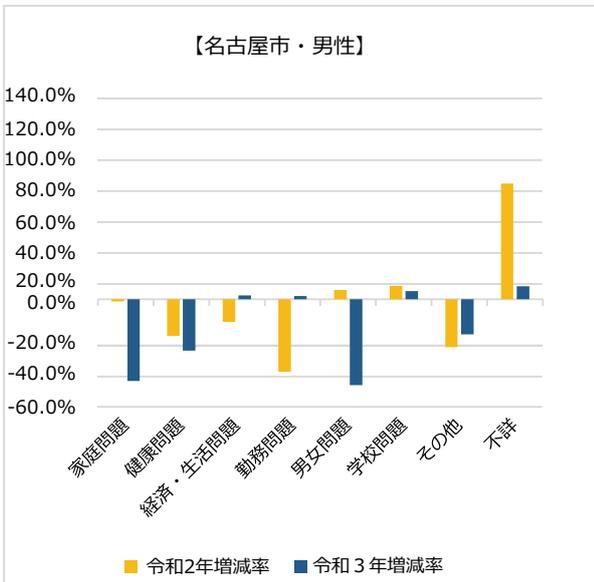
年代別（男女別）

（厚生労働省・人口動態統計）



原因・動機別（男女別）

（警察庁・自殺統計）



3 「いのちの支援なごやプラン」における取り組み

ア 基本施策の3つの視点

○「自殺の予防」

市民一人ひとりの健康保持に取り組み、自殺や精神疾患等についての正しい知識の普及啓発等、自殺の危険性が低い段階の対策を実施

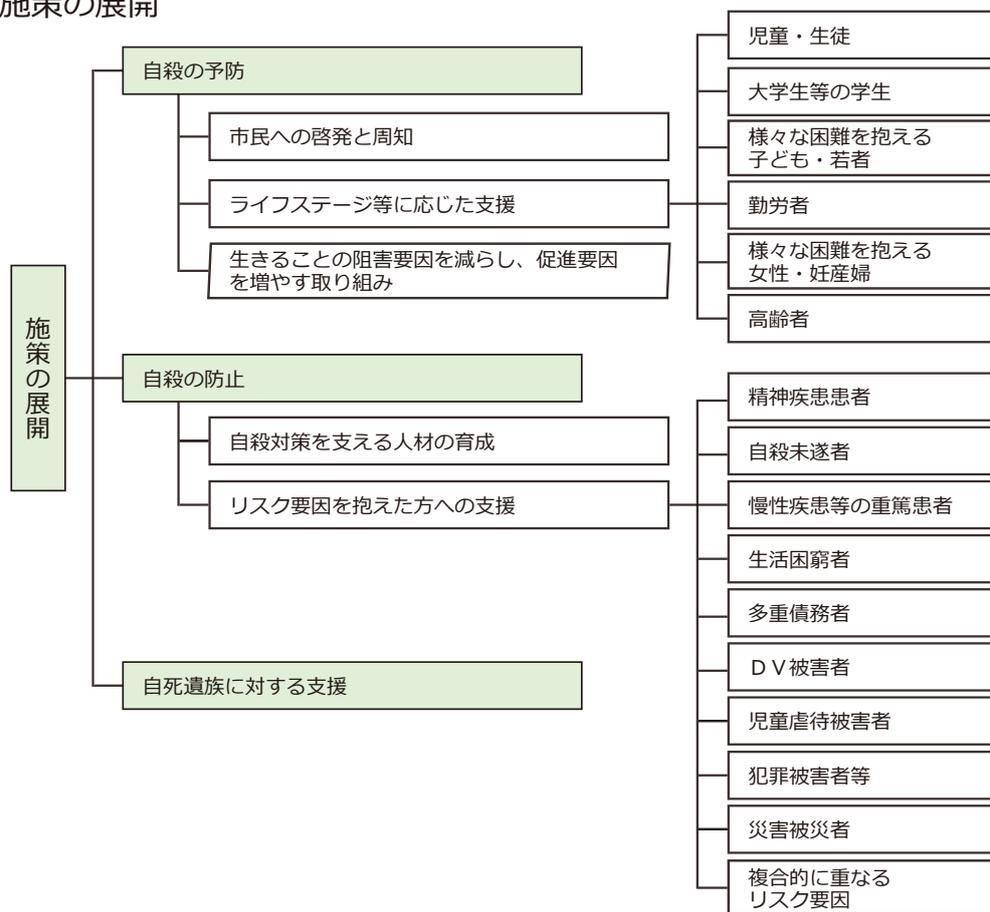
○「自殺の防止」

自殺発生のサインを見逃さず、自殺を未然に防ぐための対策を実施

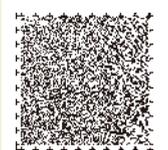
○「自死遺族に対する支援」

市民の自死遺族に対する理解の促進と支援の充実を実施

イ 施策の展開



- ・各項目について「現状・課題」、「主な取り組み」、「主な施策」を記載
- ・計画期間中に重点的に行う取り組みについて「評価指標」を設定し、進行管理



自殺の予防 ～自殺の危険性が低い段階で予防を図る～

計画期間中に重点的に行う取り組み

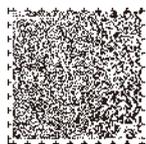
- ✿ 自殺や精神疾患などの正しい知識の普及啓発の促進や、多様な悩みに対応する各種相談機関の認知度向上のためウェブサイト「こころの絆創膏」の機能向上などとともに「こころの絆創膏アプリ」も活用し、広報・周知を実施
- ✿ 名古屋市こころの健康無料相談※の拡充により、様々なこころの悩みを抱えた方の利用促進を図るとともに、更なる認知度向上のための取り組みを実施
※旧「名古屋市こころの健康（夜間・土日）無料相談」

評価指標	現況 (令和3年度)	計画目標 (令和4年度)	計画目標 (令和9年度)
ウェブサイト「こころの絆創膏」の認知度	17.6%	30%	30%以上
名古屋市こころの健康無料相談の認知度	14.1%	30%	30%以上

(ア) 市民への啓発と周知

(主な取り組み)

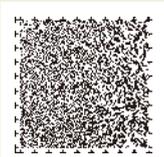
- こころの健康づくりと精神疾患についての正しい理解の促進や相談窓口の周知のため、ウェブサイト「こころの絆創膏」の運営、ディスプレイ広告やSNSによる広告、啓発パンフレット等の作成・配布、各種イベント等を実施
- 自殺予防週間や自殺対策強化月間等に、関係機関・団体と連携し、集中的な啓発事業を実施
- 相談窓口の周知およびこころの健康づくりの促進のため、相談窓口検索やセルフケア機能を搭載した「こころの絆創膏アプリ」を運営
- 精神障害に関する理解や支えを促進するため、「心のサポーター養成研修」を実施



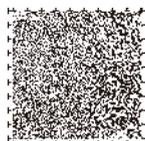
(イ) ライフステージ等に応じた支援

(主な取り組み)

区 分	内 容
児童・生徒	<ul style="list-style-type: none">○ SOSの出し方に関する教育に活用するためのパンフレット等を作成・配布し、名古屋市立学校の児童・生徒（小4～高3）に自殺予防教育を実施○ 市内の私立学校の自殺予防教育を支援するため、児童・生徒向けこころの健康に関する啓発パンフレット等を配布○ 教職員等の資質向上を図るための研修等を実施○ いじめ、不登校や非行等の問題に対応するための常勤のスクールカウンセラー等を学校現場に配置○ 配布されているPCやタブレット端末の活用等による児童・生徒の心の状態の把握やSNS報告相談を実施
大学生等の学生	<ul style="list-style-type: none">○ 学生相談に関わる大学関係者等向けの研修及び情報交換を内容とするセミナーを実施○ 相談機関と連携して若年層の援助希求行動を促すためのイベント「スマイル！こころの絆創膏デー」を実施○ 若者が日常的に利用するSNSを通じて、相談・支援を受けられるよう、LINEによる相談を実施
様々な困難を抱える子ども・若者	<ul style="list-style-type: none">○ ひきこもり地域支援センターでの相談やリーフレットの作成等を実施○ 社会生活を営む上で様々な困難を有する子ども・若者の相談を行い状況に応じた支援機関へつなぐとともに、就労など自立ができるように支援○ 子どもの権利侵害に関する相談や申立て等に基づいた権利回復のための取組み等を実施○ ひとり親家庭、生活保護及び生活困窮世帯の子どもを対象とした学習支援を実施○ ヤングケアラーとならざるを得ない場合に支援を受けられるよう、適切な情報の周知や支援を実施



区 分	内 容
勤労者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の通勤時間や夕方の帰宅時間にあわせた啓発キャンペーンを実施 ○ 相談しやすいよう平日夜間や土日に精神科医等による面接相談を実施 ○ 中小企業等の研修にメンタルヘルス対策に関する出前講座を行う専門家を派遣するほか、ハラスメント防止等の企業の就労環境整備に向けた啓発・相談等を実施
様々な困難を抱える女性・妊産婦	<ul style="list-style-type: none"> ○ 女性やDV被害者に対する電話相談等を実施 ○ 生活に困りごとや不安を抱えている方へ、就労による経済的な自立や、家計の改善による日常生活の自立のための支援を実施 ○ 産後うつ病の予防や早期発見、育児不安や負担軽減等のための相談事業やリーフレットの配布等を実施 ○ 予期せぬ妊娠などにより悩みなどを抱えた方への相談支援を実施 ○ 令和6年4月から「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が施行されることを踏まえ、必要な取組を推進
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者の孤立防止事業等により地域の支援ネットワークを構築するとともに、いきいき支援センターにおいて総合的な相談を実施 ○ 高齢者サロンや認知症カフェなど情報交換等のための居場所づくりを推進 ○ 高齢者支援者向けに高齢者の自殺予防に関するハンドブックを作成・配布



(ウ) 生きることの阻害要因を減らし、促進要因を増やす取り組み

(主な取り組み)

- 様々な悩みに対応した相談窓口による相談を実施
- 各区の福祉会館や生涯学習センター等において生きがいづくりや仲間づくりを推進
- 孤立を防止するための様々な居場所づくり事業を実施
- 外国人が日本の生活で抱く不安や悩みなどを解消するための相談を実施
- 家族や仕事、人間関係などの悩みを抱える男性のための相談を実施



自殺の防止 ～自殺の危険性がある人のサインに気づき未然に防ぐ～

計画期間中に重点的に行う取り組み

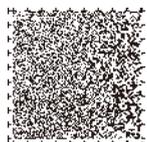
- ✿ 周りの悩んでいる人のサインに気づき、声をかけ、話を聴き、必要な支援につなげ、見守る役割を担うゲートキーパーについてより一層の周知を図るとともに、広く誰もが研修に参加できるよう研修機会の拡充を実施
- ✿ 様々な相談機関の職員や医療機関等の専門職などに向けたゲートキーパー研修の拡充により専門的なゲートキーパーの役割を担う人材を育成

評価指標	現況 (令和3年度)	計画目標 (令和4年度)	計画目標 (令和9年度)
「身近な人が悩みを抱えているように見えたとき、その人の助けになるうと声をかけ、話を聴こう」と思うし行動できる人の割合	45.3%	50%	60%以上
ゲートキーパー関連研修の参加者数累計（平成20年度から実施）	59,656人	65,000人	100,000人

(ア) 自殺対策を支える人材の育成

(主な取り組み)

- ゲートキーパーの普及啓発を図るため、ハンドブックおよび研修動画の作成・配布や一般市民向けゲートキーパー研修を実施
- かかりつけの医師等や学校関係者、地域団体、保健センター等の相談機関、民間企業等を対象とした研修により人材育成を推進
- ゲートキーパー研修を受講した方の活動に対する支援を実施



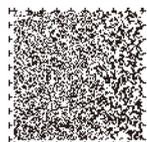
(イ) リスク要因を抱えた方への支援

(主な取り組み)

区 分	内 容
精神疾患患者	<ul style="list-style-type: none">○ 保健センターや精神保健福祉センター等で精神保健福祉相談を実施○ うつ病と診断された方の家族を対象に、正しい知識や接し方を学ぶ家族教室を実施○ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みの実施
自殺未遂者	<ul style="list-style-type: none">○ 地域連携マニュアル「ガイドブック 常備薬こころの絆創膏」を作成し相談機関等に配布○ 救急医療機関へ搬送された患者及び家族を適切に支援するためのマニュアルを整備○ 自殺未遂者等への対応や連携に関する研修会等を実施○ 自殺未遂者の再企図を防ぐため、本人及び家族向けのリーフレットを医療機関等に配布
慢性疾患等の重篤患者	<ul style="list-style-type: none">○ かかりつけの医師等に対し、うつ病等精神疾患に関する診療の知識や技術、専門の医師との連携方法等を習得するための研修を実施○ がん患者及び家族等に対しピアサポーターによる相談、患者交流会等を実施○ 難病患者及び家族を対象に面接、訪問相談、患者交流会等を実施○ 服薬指導や薬学管理を行う名古屋市薬剤師会の会員に対して、ゲートキーパー研修を実施



区 分	内 容
生活困窮者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様で複合的な問題への相談対応及び自立に向けた相談支援等を実施 ○ 生活困窮を担当する相談機関や関係機関の職員に対して、ゲートキーパー研修を実施
多重債務者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相談窓口の設置や発生予防に向けた啓発・相談窓口の周知等を実施 ○ 身近な法律相談を受ける愛知県司法書士会の会員へゲートキーパー研修を実施
D V 被害者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電話相談や、被害者の保護及び自立支援等を実施
児童虐待被害者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童相談所や社会福祉事務所等の体制強化や専門性の向上を実施
犯罪被害者等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合支援窓口の設置、経済的・精神的支援、広報啓発・人材育成を柱とした、犯罪被害者等に対する支援を実施
災害被災者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発災時等に、精神医療機関の支援、被災者の心のケアができるよう、関係職員等を対象とした研修を実施 ○ 災害時に、被災者のこころの健康の相談窓口を設置
複合的に重なる リスク要因	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自殺対策関係相談機関等ネットワーク会議」の開催等により相談機関相互の連携を促進 ○ 属性を問わない相談支援、参加支援及び地域づくりに向けた支援を一体的に行う「重層的支援体制整備事業」を実施 ○ セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）の当事者等への相談支援を実施 ○ 愛知県弁護士会と連携し、法律問題とこころの健康に関する悩みなどを同時に相談できる無料相談会を実施 ○ 多様なニーズに対応するため、SNS等を活用した相談事業を拡充し、相談しやすく効果的な支援が可能となるような仕組みを構築



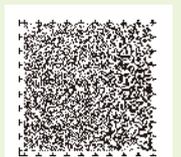
自死遺族に対する支援～親族等身近な方を自死により亡くした方への支援～

計画期間中に重点的に行う取り組み

- ✿ 市民が自死遺族の心情等を理解し、寄り添うことができるよう、また市職員、学校関係者、各相談機関職員等が自死遺族に対し適切な配慮や対応ができるように啓発や研修の実施
- ✿ 自死遺族の方が抱える生活上・法律上の問題や精神的な不調等について相談できる場や各相談機関・自助グループ等の情報を周知

(主な取り組み)

- 自死遺族のこころのケアを図るため、相談支援やカウンセリング等を実施
- リーフレットやウェブサイト「こころの絆創膏」で自死遺族が必要とする情報を提供
- 自死遺族の心情や生きづらさ、留意した方が良いこと等について理解の促進を図るため、セミナーの開催やゲートキーパー関連研修の中で啓発を実施



ウェブサイト

こころの絆創膏



病気や介護、子育て、仕事関係の悩みなど様々な悩みに関する約200の相談窓口情報、精神科医療機関の情報、自死遺族の方へ向けた役立つ情報などを掲載しています。

名古屋市相談窓口情報サイト

こころの絆創膏



相談窓口情報とメンタルヘルスケア

こころの絆創膏アプリ



主な機能

- 日記(文と写真)の登録
- コンディションの登録
- メンタルヘルス・ストレスのセルフチェック
- セルフケアメニュー



スマホで気軽に、こころのチェック!

インストールは
こちらから。

ios 端末の方

android 端末の方



名古屋市こころの健康無料相談

秘密厳守

相談方法は3種類

- 面接相談(要予約)
- 電話相談

052-962-9002

受付時間:毎日9:00~21:00
(祝休日・年末年始を除く)



- LINEで相談 (LINEチャット相談)
- 友だち登録してメッセージを送ってください。
- 受付時間:毎週火曜・木曜・日曜16:00~21:00
※火曜日については令和5年6月より相談開始予定
※祝休日・年末年始を除く



LINE

- ・名古屋市在住・在勤(学)の方が対象となります。
- ・ご家族による相談も可能です。
- ・面接相談の相談員は、精神科医臨床心理士・産業カウンセラー等です。
- ・面接時間は、平日夜間および土日におこなっています。(場所・時間など詳細については予約時にお伝えします。)

いのちの支援なごやプラン (第2次)
~名古屋市自殺対策総合計画 (第2次) ~

【概要版】

名古屋市健康福祉局健康部健康増進課

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

- 電話番号 052-972-2283
- ファックス 052-972-4152
- 電子メール a2283@kenkofukushi.city.nagoya.lg.jp

